

安倍内閣の暴走ストップを

すでに日米軍事一体化が（米・カリフォルニアでの日米合同訓練）



海外でアメリカと一緒に戦争する「集団的自衛権」は認められません

安倍首相は、私的諮問機関である安保法制懇が5月連休明けにも提出する報告書を受けて、「集団的自衛権」についての憲法解釈の変更を閣議決定しようとしています。これは、憲法9条に反して日米と一緒に海外で戦争する態勢をつくるものであり、認められません。（裏面のマンガを参照してください）

戦後長い間守られてきた憲法解釈を、一内閣の判断で簡単に変えるやり方も許されません。いま、憲法違反の解釈改憲に大きな批判があがっています。国民世論で集団的自衛権行使容認をやめさせましょう。

沖縄の民意を踏みにじる辺野古新基地押し付けに反対します

防衛省・沖縄防衛局は4月11日、辺野古新基地建設のための埋め立て工事に向けて、資材置き場などに使うための辺野古漁港の使用許可など6項目の申請をおこなう書類を提出しました。防衛局は、金曜日の午後5時前という業務終了間際に、市役所窓口に書類を置いて立ち去るという常識を欠いた行動をとりました。

これは、今年23日のオバマ米国大統領の来日にあわせて、基地建設に向けた「事態の進展」を演出しようとしたもので、あまりにも沖縄県民を無視したものです。

稲嶺名護市長は、「ルールや礼儀を感じる事ができず、行政として考えられない。事前調整もなかった」と述べています。

今年1月におこなわれた名護市長選挙で名護市民は、「海にも陸にも新しい基地はつくらせない」との公約を貫いている稲嶺進市長を再選しました。

日米両政府は、名護市民・沖縄県民の意思に従って、辺野古新基地計画を断念すべきです。



オスプレイ訓練 全国への拡大に反対します

安倍内閣はいま、「沖縄の負担軽減」を名目に欠陥機オスプレイ訓練の全国への拡大をすすめるようとしています。

このため、東京の横田基地や神奈川の厚木基地をオスプレイが使用する可能性があります。また、安倍内閣は来年度から自衛隊にオスプレイを導入しようとしており、千葉・木更津飛行場などを候補地として格納庫や給油施設を整備し、米軍オスプレイと共同で使おうとしています。

侵略戦争の「殴りこみ」部隊の訓練を日本全土に拡大して国民を危険にさらすことは許されません。オスプレイの配備撤回を求めましょう。

安保破棄中央実行委員会 TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765 2014年4月

ナニを守るの？ 集団的自衛権

危険な動き認めない



ある日、突然・・・



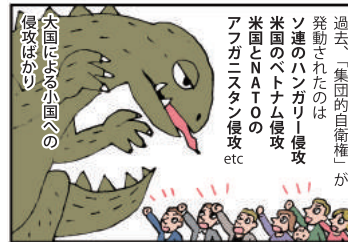
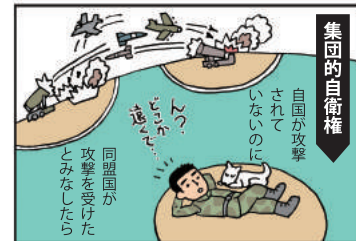
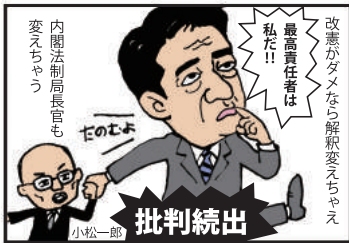
命令に背けば？



行使の実態は



2つの“自衛”



集団的自衛権の行使容認に躍起となる安倍晋三政権が、憲法解釈変更にまい進しています。憲法破壊に等しい危険な企みに、政権内部からも批判が相次いでいます。集団的自衛権の行使ができるようになると、一体どんな日本になってしまうのー？

日本平和委員会

2014年3月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277



「戦争する国」にさせない
ためにあなたも！